

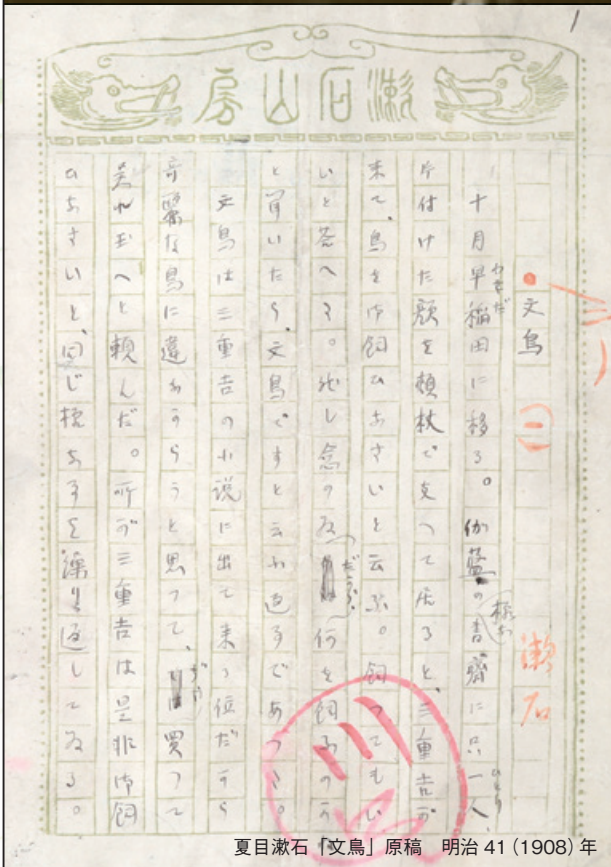
漱石山房記念館特別展

救い出された文学コレクション

— 巨理町・江戸家資料の世界 —



夏目漱石 明治41(1908)年



夏目漱石「文鳥」原稿 明治41(1908)年



江戸清吉

令和元(2019)年

9月18日(水) ~ 11月24日(日)

開館時間 / 10時 ~ 18時 (入館は17時30分まで)

休館日 / 9月24日(火)・30日(月)、10月7日(月)・15日(火)・

21日(月)・28日(月)、11月5日(火)・11日(月)・18日(月)

観覧料 / 一般500円、小中学生100円

※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額

※小中学生は土日祝日、都民の日(10月1日)は観覧無料です

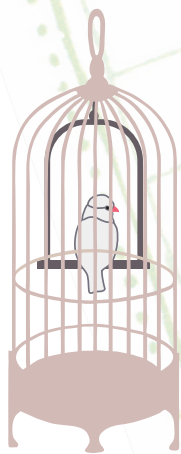
※障害者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料になります

主催 / 新宿区立漱石山房記念館(公益財団法人新宿未来創造財団)

共催 / 新宿区・新宿区教育委員会

後援 / 宮城県巨理町

協力 / 巨理町立郷土資料館



新宿区立 漱石山房記念館
Natsume Soseki Memorial Museum

〒162-0043 新宿区早稲田南町7
TEL: 03-3205-0209 <https://soseki-museum.jp/>



江戸家資料のレスキュー活動の様子 平成23(2011)年5月

今回の特別展は、亘理町立郷土資料館が保管する「江戸家資料」を中心に展示します。同資料は、明治から昭和までの小説家・劇作家・詩人・歌人・政治家の原稿・書簡・掛軸・屏風などから構成された個人コレクションです。2万点にも及ぶ資料群は、平成23(2011)年3月11日の東日本大震災に伴う津波により被災し、文化財レスキューの活動により救出されました。

コレクションの中には、夏目漱石が、漱石山房原稿用紙を使用した作品の中で、現存する最も古い原稿「文鳥」などの非常に貴重な資料も含まれています。本展示会は、漱石山房に集まった人々の関係資料及び新宿ゆかりの文学者の原稿類と、文化財レスキューの活動の様子を紹介する展示会です。

ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説

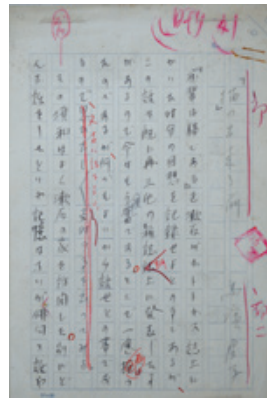
日時：9月21日、10月5日・19日、11月2日・16日の各土曜日
14時～(30分程度)
会場：漱石山房記念館 2階展示室
申込：不要(観覧券が必要です)

記念講演会①

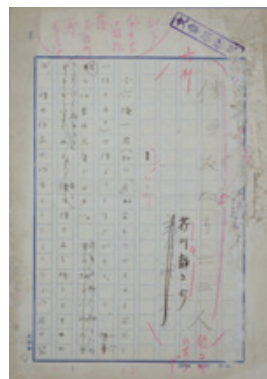
「木曜会が生んだ『文鳥』—暗示のリレーとは何か—」
日時：10月26日(土) 14時～16時
講師：佐々木英昭(文筆業、元龍谷大学教授)

記念講演会②

「亘理町の文化財レスキューと亘理町の未来」
日時：11月10日(日) 15時30分
講師：田沢裕賀(東京国立博物館学芸研究部部長、新宿区文化財調査員)他
(以下、①②共通)
会場：漱石山房記念館 地下1階講座室
定員：70名(多数抽選)
料金：500円(特別展招待券付)
申込：①、②は別々にお申込みください。1応募1名。往復はがきに講演会名・住所・氏名・電話番号、メンバーズ倶楽部会員は会員番号を明記の上、漱石山房記念館へ。当館ウェブサイトからもお申込みいただけます。10月18日(金)締切。



高浜虚子「猫」の出来る前」原稿
昭和3(1928)年



芥川龍之介「私の友人」原稿
昭和2(1927)年



夏目漱石画「春秋双幅(秋)」(光筆版)
大正4(1915)年 津田青楓箱書

※資料写真は亘理町立郷土資料館保管「江戸家資料」

新宿区立 漱石山房記念館 Natsume Soseki Memorial Museum

交通のご案内

- 【電車】東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分
 - 【バス】都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7
TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>

